

中共の「一つの中国」宣伝を打ち破れ！

## 「台湾の地位未確定」の真実を 国民常識に！

理事・台湾研究フォーラム会長

ながやま  
永山 英樹



本稿は二月十三日に行われた「台湾併呑阻止！」日台共闘決起集会での講演の要点筆記である。

中共の政権、戦略を支える柱は暴力と、それを正当化する宣伝だ。そして中共が国家目標である台湾併呑達成のため、繰り返し行う対外宣伝が「一つの中国」（台湾は中国の一部）である。

しかしこの宣伝は嘘である。それが明らかにになれば、柱の一本は崩壊し、中共は解体へと追いやられる可能性がある。言わば中共のアキレス腱なのだ。しかし中共の併呑攻勢に各国が手も足も出せないのは、この宣伝に騙されているか、騙されたふりをしているかなのである。日本もそうだ。政府、

政治家、学者、教科書、辞典に至るまで「一中」を受け入れてしまっている。これで生命線である台湾を守れるのか。台湾も蒋介石政権以来の洗脳教育で受け入れており、それが中共の攻勢への抵抗力を殺いでいる。

そこでこの宣伝の虚構を暴き、中共の弱点を衝く運動が求められる。

「一中」宣伝は台湾併呑を合法化するため、条約をでっち上げる法律戦の一環だ。そこで如何に条約をでっち上げているのか。中共の捏造ストーリーを紹介しよう。

「第二次大戦中の昭和十八年、日米中首脳がカイロで会談し、日本は台湾を中華民国に返還すべしとのカイロ宣言なる条約に署名した。昭和二十年、日

本は敗戦し、台湾を返還した。昭和二十四年、中華人民共和国が成立して中華民国が滅び、中共が台湾領有権を継承し、今日に至っている」

ただこれに対し、異説もある。それは「昭和二十年に中華民国が台湾返還を受け、今日に至っている」と言う国民党の主張がそれで、このように国民党は主張を対立させてきたのだが、今や国民党政権は中共と対立する気概を失い、「一中」のコンセンサスの下、中共の攻勢に引き摺られている。

これは危険な状況だ。そこで私は国民党と台湾国民に対し、「日本は台湾を返還していない」と強調したい。

まずカイロ宣言が台湾割譲に関する条約なら無効だ。なぜなら当事国であるべき日本が署名していない。そしてそもそもカイロ宣言などなかった。米、英、中華民国にも条約の正本はない。あれはカイロ会談の合意内容をメモしたプレスリリースに過ぎなかったのだ。従って日本の台湾返還などなく、「一

中」に法的根拠はないのである。そこで真実の歴史ストーリーを述べよう。

昭和二十年、日本は敗戦し、連合国軍総司令部の命令によって中華民國軍が台湾に進駐した。そのとき中華民國は越権行為に出て、日本の台湾総督に台湾領有権を渡せとの命令書に署名をさせ、台湾領有を宣言した。しかしこれは無効である。だから連合国は昭和二十六年に調印のサンフランシスコ講和条約で、日本に台湾を放棄させた。つまりその時点まで台湾は日本領土であり続けていたわけだ。その際台湾の新たな帰属先（国際法上の地位）は決められず、台湾の地位は未確定となった。

このことは当時すでに台湾へ亡命していた国民党政権も昭和二十八年の日華平和条約で承認している。もともと同政権は台湾人に対し、この事実を隠してきた。それが明らかになれば、台湾支配権を否定されるからだ。

だから昨年、日本の齋藤駐台代表が

台湾での講演で「未確定」との真実を述べたとき、国民党は猛反撥し、齋藤氏との会見ポイコットと言う制裁に出た。中共も猛反撥した。かくして日本政府は狼狽し、齋藤氏の発言は政府見解と異なるとし、擁護しなかった。

しかし齋藤発言は政府見解と矛盾していない。政府見解は中共との国交樹立の際にはつきりと表われている。中華人民共和国の台湾領有権を認めると迫る中共に対し、「日本には台湾がどここのものと言う権限はない」と言うのがそれだ。「勝手に中国のものど決められることはできない」との意味であるが、もし「未確定」でなければ、「どここのもの」と明言しているはずだ。

ところが齋藤発言を巡って政府サイドが示した政府見解とは「日本には台湾の地位を独自認定する権限はない」だった。つまり「台湾の地位は未定であり、中国のものではないと勝手に決めることはできない」と言う意味だ。

これは明らかに中国のためにする政

府自らの政府見解の歪曲である。そこで私は外務省に、見解の変更について説明を求めた。外務省は後日私に電話すると約束したが、それから一ヶ月経った今も電話はない。歪曲が発覚するのを恐れているのだろう。

このように政府は中共の宣伝に騙されたふりをしているのである。中共の対日宣伝工作は成功しているのである。日本人に「一中」、つまり「台湾問題は中国の内政問題」だと刷り込ませ、日米同盟の台湾有事介入を阻止させるとの戦略的シナリオどおりではないか。

そこで求められるのが、政府に真実を証言させること。そして世界に宣伝の嘘を知らせ、台湾攻略を抑止させることだ。目の前に晒される中共のアクセス鍵は衝かなければ弱点とはならない。そればかりか台湾侵略の歩みを支え続けることになるだろう。

「台湾の地位未確定論」の真実を日本の国民常識にする運動を。